

## 2022年度第93回日本建築学会関東支部研究発表会 研究報告応募要領

2022年度第93回日本建築学会関東支部研究発表会は、早稲田大学に於いて、2023年2月27日（月）～28日（火）の2日間の日程で開催いたします。2022年度日本建築学会関東支部研究発表会の研究報告を下記の要領で募集いたしますので、ふるってご応募ください。

応募にあたりましては、下記事項に十分ご注意ください。

- a) 研究発表者は、正会員（個人）・準会員に限ります。未入会の場合は投稿時までに入会手続きをすませてください。
- b) 研究発表者および共同発表者（正会員（個人）・準会員）に2022年度会費未納者、2008年度以降の関東支部研究発表会発表登録費未納者がいる場合は応募できません。
- c) 2023年1月12日（木）までに発表登録費等を納入しなければなりません。
- d) 代理発表は一切認めません。
- e) 応募締切（電子投稿：2023年1月11日（水）17時）は厳守です。
- f) 締切後の原稿の訂正は一切認めません。
- g) 原稿執筆要領に示されている文字数の基準を大きく逸脱した原稿は不採択の対象となります。図表中の文字も十分判読できるよう作成してください。

### ■優秀研究報告集について

[http://kanto.aij.or.jp/images/pdf/shibuken/2022/2022excellent\\_y.pdf](http://kanto.aij.or.jp/images/pdf/shibuken/2022/2022excellent_y.pdf)

### ■若手優秀研究報告賞について

[http://kanto.aij.or.jp/images/pdf/shibuken/2022/2022excellent\\_w.pdf](http://kanto.aij.or.jp/images/pdf/shibuken/2022/2022excellent_w.pdf)

### ●応募規程

#### 1. 研究報告の内容

建築に関する学術・技術・芸術の最近の研究成果、統計的資料、調査報告、実施作品、計画案、大学の卒業設計、大学院の設計課題等で未発表のもの。ただし、「本会大会」で発表したもの、ならびに他学会論文集等に発表したもので、とくに建築に関連の深いものはこの限りではない。

#### 2. 応募・発表資格

研究発表者および共同発表者の資格は次による。

##### 2.1 研究発表者（○印）は次の条件を備えたものとする。

- a) 本会正会員（個人）・準会員（他支部会員も応募可）であって、「9. 発表登録費とその他費用」に記載の発表登録費を期限までに納入したもの。
- b) 2022年度会費未納者、2008年度以降の関東支部研究発表会発表登録費未納

者は応募できない。

- c) 未入会の場合は、本会ホームページ<https://www.aij.or.jp/admission01.html>から、投稿時までに入会手続きを完了させる（入会金・会費を支払わないと入会手続きは完了しないので要注意）。会費等の支払い方法で「口座振替」を選択し、手続きを完了すると会員番号が即時に取得できるが、「コンビニ決済」を選択すると、コンビニ店舗にて振込み後おおむね数時間以内に登録されたメールアドレスに会員番号が知らされる。なお、正式な入会は理事会承認後となる。
- d) 2022年度会費未納者は、2022年12月23日（金）までに未納会費を納める。また、会員登録情報に変更のある方は、本会ホームページ<https://www.aij.or.jp/kaiinnokata.html>から変更手続きをする。

## 2.2 共同発表者(連名者)は次のいずれかの条件を備えたものとする

- a) 本会正会員（個人）・準会員（他支部会員も応募可）。ただし、2022年度会費未納者、2008年度以降の関東支部研究発表会発表登録費未納者は応募できない。未入会・会費未納の場合は、2.1 c) d)と同様の手続きをする。
- b) 会員外であって、「9. 発表登録費とその他費用」に記載の発表登録費を期限までに納入したもの。

## 3. 発表者の権利・義務

研究発表者の権利・義務は次のとおりとする。

- a) 研究発表者は、1名3題まで発表を行うことができる。
- b) 研究発表者は、必ず研究発表会に参加し発表をしなければならない。共同発表者等の代理発表は認めない。
- c) 研究発表者の出席・欠席は、研究運営委員会に報告され、記録として保存される。また、欠席の発表番号は当支部ホームページにて公表される。
- d) 発表は、1題当たり15分以内とする（発表12分、質疑応答3分）。

\*応募題数が多い場合は、プログラム編成上、発表時間を変更することもある。

## 4. 応募方法

インターネット上での発表登録および研究報告原稿提出（電子投稿）をもって申込みとする。締切後の原稿の訂正は一切認めない。

## 5. 発表部門

発表部門は、下記の10部門のいずれかとする。ただし、プログラム編成に際し、研究運営委員会において発表部門の変更をする場合がある。

1. 材料施工、2. 構造、3. 防火、4. 環境工学、5. 建築計画、6. 農村計画、7. 都市計画、8. 建築社会システム、9. 建築歴史・意匠、10. 建築デザイン

## 6. 発表方法

機器の利用については、PC プロジェクターを各部屋に用意する。ただし、パソコンは各自で持参とする。

パソコン、接続器等にトラブルが生じた場合は、パソコンを使用せずに発表する。会場に備え付けられた機器（PCプロジェクター）以外は原則として使用できない。

## 7. 応募期間

2022年12月5日（月）から2023年1月11日（水）17時（厳守）

提出先 <https://www.e-sips.com/aij/kantou2022/form.php>

## 8. 研究報告原稿の採否

研究報告原稿の採否は、研究運営委員会が決定する。下記条件等に照らし、関東支部研究発表会の研究報告原稿として不適切と認められるものは採択しない。不採択となった場合は、2023年2月中旬までに本人に通知する。採択された研究報告原稿は、「日本建築学会関東支部2022年度（第93回）研究発表会研究報告集（USB）」に収録する。

- a) 報告原稿に記載した説明が著しく不十分なもの。
- b) 同一または類似の研究が既に行われているもの。
- c) 内容が商業宣伝に偏ったもの（商品名の使用には注意すること）。
- d) 他者を誹謗中傷する内容を含むもの。
- e) 応募規程、原稿執筆要領、電子投稿用ファイル作成要領に反するもの。

## 9. 発表登録費とその他費用

発表登録費、研究報告集USB代金は以下のとおりとする。

- a) 発表登録費は、1題につき2,500円とし、共同発表者に会員外を含む場合は、会員外1名につき9,000円を加算する。
- b) 研究報告集USBは、1個あたり2,500円とする。
- c) 優秀研究報告集・若手優秀研究報告賞の応募料は無料とする。
- d) 優秀研究報告集USBは、1個あたり2,500円とする（後日販売する）。

## 10. 発表登録費等の支払い方法・支払期間

支払いは、原則として銀行振込とする。支払期間は、2022年12月5日（月）から2023年1月12日（木）17時（厳守）とする。

電子投稿の際に発行された受付番号と、発表者氏名を振込時の振込人名に記載する。共同発表者で会員外の発表登録費を納入する場合も必ず受付番号を名前の前に付記する。

例) 「001 カトウケン仔」

- a) 複数題分をまとめて合算支払いする場合は、どれか1つの受付番号（3桁）と発表者氏名を振込人名に記載する。
- b) 研究報告集USB代金をまとめて支払う場合も、どれか1つの受付番号と発表者氏名を振込人名に記載する。
- c) 合算支払いする場合は、必ず振込後すみやかに件名「2022支部研合算支払内訳受付番号 氏名」（例：「2022支部研合算支払内訳 001 カトウケン仔」）として、下記アドレスまで合算内訳をメールにて連絡する。

メール送信先 [kanto@aij.or.jp](mailto:kanto@aij.or.jp)

振込口座：三菱UFJ 銀行 京橋支店 普通預金口座

口座番号：1719754

口座名義：シャ) ニホンケンチクガツカイカントウシブ

## 11. 著作権

- a) 著者は、掲載された研究報告原稿の著作権を当支部に委託する。ただし、当支部は、第三者から文献等の複製・引用・転載に関する許諾の要請がある場合は、原著者に連絡し許諾の確認を行う。
- b) 著者が、自分の研究報告を自らの用途のために使用することについての制限はない。なお、掲載された研究報告原稿をそのまま他の著作物に転載する場合は、出版権に関わるので当支部に申し出る。
- c) 編集著作権は、当支部に帰属する。

## 12. 電子形態による公開

支部研究発表会にて発表された研究報告は、日本建築学会および本会が許諾したウェブサイトから全ページが公開される。

## 13. プログラム・会場等の周知

プログラム・会場等の周知については、2023年2月中旬までに関東支部ホームページに掲載する。

## ●原稿執筆要領

### 1. 研究報告原稿執筆上の注意

- a) 研究報告原稿は「目的」「方法または経過」「結果」の順に記す。
- b) 継続研究報告原稿にあつては、最近における前発表の掲載書名、掲載年月、号数、発行年月日等を必ず前書きする。

### 2. 用紙設定

- a) 白地のA4判4ページとする（環境工学部門のみ2ページも可とする）。
- b) 横書き2段組を原則とし、ワープロソフト等で上マージン25mm、下マージン22mm、左右マージン15mm、1段を87mm（段の間隔6mm）、1ページあたり48行、1段あたり25文字を基準（文字の大きさ9.5ポイント相当）として設定する。

### 3. 文字

- a) 本文の言語は日本語または英語とする。
- b) 和文はJIS 第一水準、第二水準の漢字を使用する。
- c) 本文書体は、和文は明朝体、欧文はTimes New Roman を用いることが望ましい。

### 4. キーワード

研究発表会申込みフォームに記入したものと同一和文キーワード1～6個を必ず記述する。用語は日本建築学会「学術用語集—建築学編」から選ぶことを基

本とするが、適当な語がない場合はこの限りではない。

## 5. 記載方法

原稿用紙1枚目には、下記の項目を記載する。

### a) 1ページ目上段

- ・ 原稿題目（本文より大きなポイント（14ポイント程度）にする）
- ・ 発表部門（1. 材料施工、2. 構造、3. 防火、4. 環境工学、5. 建築計画、6. 農村計画、7. 都市計画、8. 建築社会システム、9. 建築歴史・意匠、10. 建築デザイン）
- ・ 細分類→2022年度大会細分類・細々分類一覧参照  
<http://kanto.aij.or.jp/images/pdf/shibuken/2022/bunrui2022.pdf>
- ・ キーワード1個～6個程度
- ・ 会員種別
- ・ 発表者名（連名の場合は、講演発表者名を筆頭に記し、その名前の前に○を付ける。）

### b) 1ページ目下段（欧文表題・欧文発表者名）

- ・ 記載欄と本文の間に罫線を引く。
- ・ 欧文表題、欧文発表者名の順に記載する。
- ・ 欧文表題は左側に、欧文発表者名は右側に寄せて書く。
- ・ 欧文講演発表者名はローマ字で姓・名の順に記入し、姓はすべて大文字とし、名は頭文字のみ大文字とする。

### c) 4ページ目（環境工学部門で2ページの場合は2枚目）下段（和文所属・欧文所属）

- ・ 記載欄と本文の間に罫線を引く。
- ・ 和文所属（・学位）、欧文所属（・学位）の順に記載する。
- ・ 和文所属は左側に、欧文所属は右側に寄せて書く。
- ・ 所属がない場合は“フリーランス”と表記すること。

\*原稿用紙4枚目（環境工学部門で2ページの場合は2枚目）は半分以上記載する。

## 6. 図表および写真

- 図表および写真は適当と思われる場所にレイアウトする。
- 図表および写真は、研究報告原稿に貼り付けた状態で保存し、別ファイルにはしない。
- 図表中の文字は十分判読できる大きさとする。

## 7. テンプレート

Microsoft Wordのテンプレートを提供するので、必要に応じて利用されたい。→テンプレート(Microsoft Word Windows 版)

<http://kanto.aij.or.jp/images/pdf/shibuken/2022/2022template.doc>

なお、これらの基準から大きく逸脱した原稿は、原稿執筆要領に反するもの

として不採択となる場合がある。

## ●電子投稿用ファイル作成要領

### 1. ファイル形式

電子原稿はAdobe Reader で表示および印刷可能なPDF (Portable Document Format) ファイルで提出する。

### 2. ファイルサイズについて

サーバはとくに制限を設けないが、ファイルサイズはなるべく2MB以内となるようにする。

### 3. ファイル名について

必ず拡張子 (.pdf) をつける。

### 4. 作成するアプリケーションとOS

原稿を作成するアプリケーションの制限はないが、OSはWindows 7以上またはMacintosh10.12以上を推奨する。

### 5. PDF ファイルの作成方法

PDFファイルは、原則としてAcrobat DC以降（または同等品）を用いて作成する。作成方法についてはソフト付属のマニュアルを参照する。

adobe→ <http://www.adobe.com/jp/>

なお、1題の発表申込みに対してファイルは1つとする。また、圧縮ツールによる圧縮やセキュリティ設定はしない（ファイルが開封できない場合は不採択とする）。

### 6. PDF ファイルの送信について

締切間際は回線が混雑するので余裕をもって投稿する。前日までに投稿されることが望ましい。送信されたファイルがPDFファイル以外の場合は、不採択とする。

### 7. 使用できるフォントの制限

投稿されたPDFファイルはWindowsまたはMacintosh上で稼働するUSBメモリに掲載するので、原稿内に使用するフォントは以下に限定する。

OS	Windows	Macintosh (OS10.12以上)
日本語フォント	MS明朝またはMSゴシック	MS明朝、MSゴシック、ヒラギノ
英字フォント	Arial, Century, Helvetica, Symbol, Times, Times New Roman	

※ 他のフォントを利用したい場合は、PDF作成時にフォントの埋込みを行う。

### 8. 色使い

本文の文字を黒色とするほかは、色使いの制限は特にない。ただし、色によっては明確に出ない場合があるので十分注意する。

### 9. 写真や画像などの解像度

写真や画像を含む場合、PDF化することにより出力品質が劣化することがあ



る。なるべく2MB以内のファイルサイズの範囲で、PDF化する際のジョブオプションの値を高くして作成する。

## 10. 印刷の確認

作成したPDF ファイルは一度プリンターで印刷し、執筆者の意図どおり印刷されることを確認する。

### ●応募・投稿について

- a) 申込みフォーム画面の指示に従い必要事項を入力してください。
- b) 2021年度より研究報告が既発表であるものについての確認と、発表した文献をお知らせいただくこととしましたのでご注意ください。
- c) 電子原稿ファイル送信画面で投稿するファイルを選択してください。電子原稿ファイルが送信されていない場合は、申し込みフォームが入力されていても受付完了となりません。
- d) 申込みフォームによる電子投稿の受付けが完了すると、受付完了画面に受付番号が表示されます。また、申込みフォームで入力されたメールアドレスに受付完了のメールが送信されますので必ずご確認ください。受付完了メールが届かない場合は、迷惑メールに分類されていないかご確認のうえ、事務局にご連絡ください。

お問い合わせ先 [shibuken@aij.or.jp](mailto:shibuken@aij.or.jp)